

特集**見えた！！皆既日食****みんなの願いで、雲は切れた**

井上 和俊 (近畿支部)

1. はじめに

私は、柴山元彦氏(自然環境研究オフィス)が中心となって計画された中国、杭州への「皆既日食と美食の旅」に参加し、厚い曇り空であったが、奇跡的に雲の切れ間から皆既日食が観測出来、新たな感動を妻や多くの参加者と共に得ることが出来た。

2. 準備

今回はビデオカメラで、皆既中の周りの状態や観測風景を撮影し、日食そのものはデジカメで撮影しよう計画していた。そのため、フィルターも買わずにいたが、日食が近づくにつれ、5分以上もある皆既をビデオにしないのはもったいないと考え直し、眼視用のフィルター・シートを購入してフィルターを自作した。事前にビデオカメラに取り付け、太陽を見たが、光が強すぎ、ハレーションを起こしてはっきり写ってくれなかった。これは困ったと思ったが時間がなく、仕方のないこれで観測することにした。

3. 観測

いよいよ観測当日である。一番心配な空は一面、雲・雲であった。ああ、今日はだめかと朝食を食べながら恨めしく空を見上げた。しかし、自称、晴れ女の妻は「私がいるから大丈夫と」何の根拠もなく、言い放っていた。

バスで観測地のホテルの屋上へ。みんなはそれぞれ観測の準備に入った。私も三脚を出し、ビデオカメラをセットした。フィルターをして、第一接触を待った。しかし厚い曇りのため、第一接触は観測出来なかった。その後、

欠けていく太陽が雲の合間に見え隠れし、皆既まではどうにか撮影が出来た。特に雲がフィルターの役割をしてくれたので皆既前からフィルターをはずして撮影した。そして、いよいよ皆既と云うときに奇跡的に雲が切れ、待望の皆既、黒い太陽の周囲に輝くコロナを観測することが出来た。さらに、水星を見られなかったものの雲の合間に金星も観測することが出来、少し興奮した。5分10数秒にわたる皆既は長く感じられ、周囲は真っ暗となり、川沿いでは街灯が輝いていた。気温も10℃近く下がったらしい。なぜか、皆既中遠くで花火が打ち上げられ、爆竹もなっていた。中国の人達も皆既中の太陽を見て興奮状態になったのだろう。ダイヤモンドリングとなり、皆既は終了した。その時、参加者から大きな歓声や拍手がわき上がり、「よかった。よかった」の声があちこちで起こった。

その後、日食は第4接触に向かっていった。空の状態はだんだん良くなっていったが、私は太陽の光が強くなるに連れて、写りが悪くなっていくのでビデオでの撮影は途中で切り上げた。

4. 撮影画像と今後

今回は赤道儀を使用しないで、撮影をしたので、太陽が画面のあちこちに動き、見にくい結果となった。また、フィルターにも問題があった。今後、金環日食や金星の日面経過があるので、本格的に準備をして、新たな気持ちで、次回の観測に臨もうと考えている。

観測地：中国 杭州 30.192N 120.142E

撮影機器：SONYHANDYCAM HDR-XR520V

フィルター：アストロラー太陽フィルターシート

(眼視用：ND5相当)

日食予報 (国立天文台 HPより)

第一接触：08:21:22

第二接触：09:34:15

食の最大：09:36:52

第三接触：09:39:30

第四接触：10:59:21



ダイヤモンドリング (第三接触後)



雲の中を行く皆既直前の太陽



観測地から見えた打ち上げ花火



皆既中の太陽とコロナ